

鉄道線上限運賃の変更認可申請について

北陸鉄道は5月29日、国土交通省北陸信越運輸局に鉄道旅客上限運賃の変更認可申請を行いました。

ご利用の皆さまには、ご負担をおかけしますが、将来にわたって、安全・安心な鉄道を走らせていくために実施させていただきたいと考えております。

記

1. 申請の内容

(1) 実施予定日 2019年10月1日(火)

(2) 申請理由

北陸鉄道・鉄道線では、安全第一に運行を継続するとともに、鉄道利用者の増加と営業収入の確保を目指して、各種企画切符の販売や企画電車の運行、イベントなどの利用促進策に取り組んでまいりました。

一方、経費削減のため、利用者が僅少な区間の廃止やワンマン運行の開始など、様々な経営改善にも努めてまいりました。しかしながら、施設・車両修繕費の増加、運転電力料金の値上げ等により損失の計上が拡大する傾向にあります。

今後も、諸経費の増大は避けられず厳しい経営環境が続くことから、今般、鉄道線上限運賃の変更認可申請を行い、今後も安全・安心で地域の足を担う鉄道線を目指すものです。

(3) 申請の概要

上限運賃の変更認可申請を国土交通省北陸信越運輸局に提出しました。認可後、上限運賃の範囲内で実施運賃の届出を行い、普通旅客運賃及び定期旅客運賃を改定します。

(4) 平均改定率(上限運賃)

普通旅客運賃(大人) 13.153%

定期旅客運賃 通勤・通学 13.464%

(5) 現行・改定上限運賃比較

普通旅客運賃（大人）＊小学生半額、10円未満切り上げ

対キロ区間	現行上限運賃（円）	改定上限運賃（円）
2.0 kmまで	140	160
2.0 kmを超え～ 4.0 kmまで	220	250
4.0 kmを超え～ 6.0 kmまで	290	330
6.0 kmを超え～ 8.0 kmまで	350	400
8.0 kmを超え～10.0 kmまで	400	450
10.0 kmを超え～12.0 kmまで	450	500
12.0 kmを超え～14.0 kmまで	500	550

2. 収支の実績および推定

単位：千円

	2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2019～2021年度 (3年間合計)	
			現行	改定後
営業収益	557,905	554,638	1,634,343	1,845,670
営業費用	641,854	661,259	1,943,507	1,943,507
営業損失	▲83,949	▲106,621	▲309,164	▲97,837
営業収支率	86.9%	83.8%	84.0%	94.9%

3. 運賃収入内訳

単位：千円

	2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2019～2021年度 (3年間合計)	
			現行	改定後
定期外 (現金・回数券等)	306,103	302,899	902,261	1,020,907
定期券	237,229	237,843	688,363	781,044
合計	543,332	540,742	1,590,624	1,801,951

4. 需要の見通し

単位：千人

		2016年度 (実績)	2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2019年度 (推定)	2020年度 (推定)	2021年度 (推定)
定期外		1,313	1,381	1,375	1,374	1,370	1,367
定期券	通勤	588	611	616	607	602	600
	通学	1,013	1,058	1,087	1,045	1,019	1,016
	計	1,601	1,669	1,704	1,652	1,621	1,616
合計		2,915	3,050	3,079	3,026	2,991	2,983
対前年比		102.0%	104.6%	100.9%	98.2%	98.8%	99.7%

5. 設備投資の実績と計画

(1) 設備投資額の実績と計画

単位：百万円

	2016年度 (実績)	2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2019年度 (計画)	2020年度 (計画)	2021年度 (計画)
安全運行	289	260	291	261	258	305
サービス向上	8	5	6	7	6	4
合計	297	265	298	268	265	309

(2) 検討中の主要プロジェクト（2019～2021年度）

事業名称	重軌条化事業
目的	石川線野々市工大前～馬替駅間の37kg・40kgレールを50kgレールへ更新
効果	走行安定性と制震性を高めお客様に快適な走行を提供 車両故障や信号故障を防ぎ安定した輸送サービスの提供

事業名称	信号保安・電路設備等事業
目的	石川線馬替踏切と押野3号踏切の無警報対策を実施
効果	保安度のより高い回路に変更して無警報による重大事故の防止を図る

事業名称	車両更新事業
目的	現有車両の老朽化に伴う車両更新
効果	走行安定性と制震性を高め、お客さまに快適な走行を提供し、車両故障を防ぎ、安定した輸送サービスの提供

6. これまでの経営改善策の状況と今後の取り組み

これまで、列車ワンマン運行の開始、有人駅の無人化、駅窓口営業時間の見直しをはじめとする人件費削減や、利用者が著しく減少した一部区間の廃止などで経費削減の取り組みを行ってきました。また、2012年度からは、国の鉄道施設総合安全対策事業費補助金を活用して、安全に関わる設備投資を実施し、安全・安心な輸送の維持に努めてまいりました。

このように、経営合理化や公的支援を受けた設備投資を実施してまいりましたが、諸施設・車両の老朽化に伴う、維持管理費の増加をはじめ、電力料金の値上げに伴う経費の増加などで今後も継続的な損失計上・拡大が予想されます。

今後見込まれる厳しい経営環境の変化、特に少子高齢化による利用者の減少や、避けて通れない設備施設の修繕・大規模設備更新などを考慮し、この地域の鉄道として永続的に走り続けていくために運賃改定を実施させていただくものです。

なお、引き続き、様々なサービス改善策や企画電車等による利用促進策を実施してまいります。鉄道線は、1990年の運賃改定以降、消費税率の改定に伴う税・転嫁を除き、運賃改定は、29年ぶりの実施となります。

7. 運賃・料金の多様化の内容（既存の企画乗車券など）

(1) 鉄道線全線 1 日フリー乗車券

石川線、浅野川線ともに 1 日中、何回も乗降できる割安きっぷ。沿線地域の観光に便利な乗車券として好評を得ています

(2) 土日祝日限定 1 日フリーエコきっぷ

土日祝日限定でご利用いただける線区毎のフリーきっぷ。地球環境にもエコロジーで優しく、お休みのお買い物やお出かけを支援するきっぷ

(3) 平日昼トク回数券

平日 9 時～15 時台の指定時間帯でご利用いただける割安回数券。昼間のお買い物や日常生活を支援しています

(4) 通学 4 カ月定期券

学期期間を想定した定期券。通学に便利でお得な定期券

(5) シルバー定期券

70 歳以上を対象に、北陸鉄道グループ路線バスと鉄道線全線でご利用いただける定期券

(6) 恋のしらやまさんきっぷ

縁結びの神様を祭る白山比咩神社を中心に、鶴来地区の散策をお楽しみいただけるきっぷ

8. 新たな鉄道利用者のサービス向上策

(1) シルバー平日 1 日フリーエコきっぷの新設

70 歳以上の方を対象に、線区毎の 1 日フリー乗車券を発売し、買い物や通院などを支援します

(2) 通学 1 年定期券の新設

通学で利用する学生の負担を減らし、割引率を高めた通学 1 年定期券を新たに設定します。定期券の購入回数が減り、利用者の利便性向上につながります

(3) 普通回数券の有効期限の変更

既存の普通回数券の有効期限を 3 カ月から 6 カ月に変更し、利便性の向上につながります

9. その他

旅客運賃制度は、各事業者が『上限運賃』認可申請を、「国土交通省」に行い、国が審査後、認可する制度です。その認可後、各事業者は上限運賃の設定範囲内で実施運賃の届出を行い、「実施運賃」を改定しています。

10. お問い合わせ

(1) 運賃の変更認可申請に関するお問い合わせ先

鉄道部 TEL 076 (272) 2221

以上